

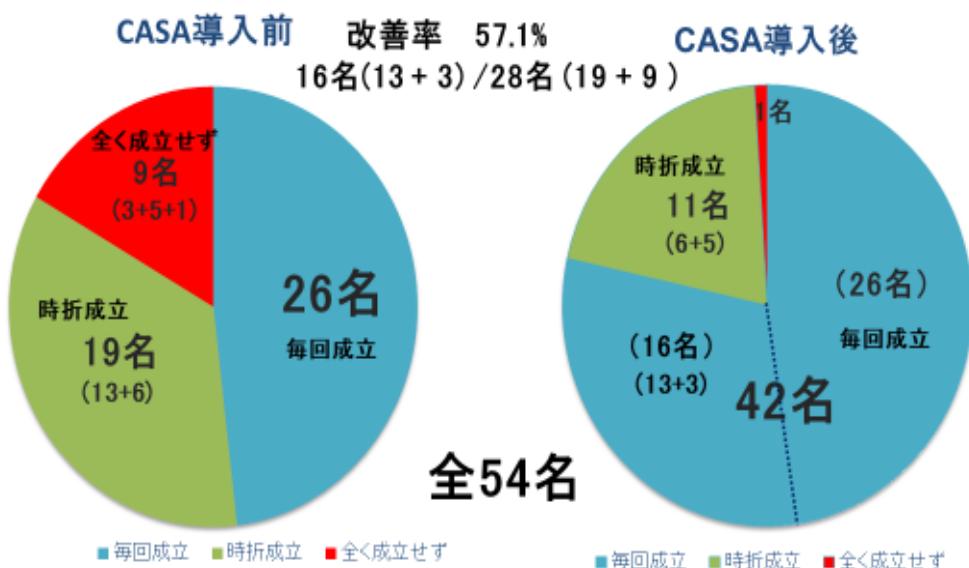
（第6報）癒しの環境研究会、2017年（愛知県）

演題名：毎回、会話が成立するには至らなかった28名の内、16名（57.1%）で毎回会話が成立した—会話補助システム（CASA）の効果

発表者：浅田 章、福井 あけみ、坂上 美幸、馬野 久美恵、阿漕 紀子、青木 竜太郎

所属：すこやか生野

28名の内、16名で 新たに毎回会話が成立した



2020/1/20

93

概略：入所者 54 名に、のべ 807 回の会話を、会話補助システム CASA 導入の前後で行った。導入前に 247 回 (30.6%, 247/807) で会話が成立しなかったが、導入後に、180 回 (72.9%, 180/247) で、新たに会話が成立した。導入前に、会話が毎回成立するには至らなかった 28 名の内、導入後に、16 名 (57.1%, 16/28) で、新たに毎回会話が成立した。3 種類のヘッドフォンは同等に会話力を増強した。